

### 第 3 回授業 実習課題

#### 0. 文字入力練習課題の印刷

- 「メモ帳」を開きましょう。
- 前回授業で作成し file\_server の[user-id] (X:) に保存したテキスト文書 **text1** を「メモ帳」で開きます。[ファイル]→[開く]でファイルの保存場所を開き、ファイルを指定します。
- [ファイル]→[印刷]で印刷し、提出します。
- 印刷が終わったら、「メモ帳」は閉じておきましょう。

#### 1. 文字入力練習課題

- デスクトップにあるアイコンをダブルクリックし、Internet Explorer を起動します。
- ツールバーの「アドレス」に、半角で  
[http://www.FL.reitaku-u.ac.jp/~schiba/lit\\_r/No3/input2.html](http://www.FL.reitaku-u.ac.jp/~schiba/lit_r/No3/input2.html)  
 と入力し、Enter キーを押してください。大文字・小文字を区別してください。正確に入力できると「文字入力の練習問題(2)」が開きます。
- では、解答していきましょう。各項目の解答欄をマウスでクリックし、指定された文字を入力して、「解答チェック」ボタンをクリックしてください。資料を参考にせずにちゃんと入力ができるか確認しましょう。
- 全てチェックが終わったら、印刷して提出します。できるだけ A4 で 1 枚になるように印刷サイズを工夫してみてください。(分からなければ、教員や TA に聞いてください。)

#### 2. USB メモリの利用 (1) USB メモリをパソコンに接続して以下の作業をしよう。

- USB メモリをパソコンにセットしてください。
- デスクトップの[マイコンピュータ]から[リムーバブルディスク (E:)]を開いて、USB メモリの中身を確認します。
- 「戻る」ボタンでドライブのリストに戻り、[リムーバブルディスク]をクリックして選択し、<ファイル (F) プロパティ (R)> を選択して、自分の USB メモリの総容量、使用済みの容量、空き容量をチェックします。



総容量 : \_\_\_\_\_ MB

空き容量 : \_\_\_\_\_ MB

- 「プロパティ」の画面を閉じ、USB メモリの中のファイルで現在使用中のものがある場合には全て閉じます。「マイコンピュータ」のウィンドウも閉じてください。
- 情報システムセンターのテクニカルノート No. 10 「USB フラッシュメモリの利用について」の説明に従い、USB メモリをパソコンから取り出します。

#### 3. 英文テキスト入力実習課題

- 「メモ帳」を起動してください。[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]→[アクセサリ]を開いて、[メモ帳]をクリックすると起動します。

- メモ帳に、まずあなたの学籍番号と、名前を入力します。学籍番号は**半角で**、名前は**半角アルファベット**で入力します。入力が終わったら Enter キーを押して改行します。
- 次のテキストを入力します ([改行] というマークが入っているところで、Enter キーを押して改行してください。他の場所で改行を入れる必要はありません)。全て**半角で**入力します (日本語 IME を OFF にします)。

※ なお、英文末のピリオドの後は半角のスペースを**2つ**入れるのが普通です。この練習を機会に習慣づけましょう。

ヒント: 「メモ帳」のメニューバーの [書式] → [右端で折り返す] をチェックすると、テキストが「メモ帳」の右端で自動的に折り返されて表示されます (改行が入るわけではありません。チェックを外すと、再び横 1 行で表示されます)。

your student ID    your name [改行]  
 [改行]  
 A Moomintroll is small and shy and fat, and has a Moominpappa and a Moominmamma. Moomins live in the forests of Finland. They like sunshine and sleep right through the winter. The snow falls and falls and falls where they live, until their houses look like great snowballs. But when the spring comes, up they jump and -- well, that is the moment when this story begins, and Moomintroll finds the Hobgoblin Hat. [改行]  
 [改行]  
 This lively and amusing story, with both magic and homely adventure, is full of good humour and unexpected happenings. [改行]  
 [改行]

- 入力が終わったら、メニューバーの [ファイル] から [名前をつけて保存] を選択し、テキストを保存します。保存する場所に 'file\_server' の [user-id] (X:) を選び、ファイル名には**半角で moomin1** と入力し、「保存」ボタンをクリックします。これで今入力されたテキストは、moomin1 という名前で file\_server の [user-id] に保存されました。(タイトルバーの左端には、「無題」の代わりに、ファイル名が表示されます。)
- 以下のテキストを、先ほど入力したテキストに続けて入力してください ([改行] の印は省略します)。

Tove Jansson was born in Helsingfors (Helsinki), Finland, in 1944. Her mother was a caricaturist and her father a sculptor. She lives on a tiny island in the guild of Finland, an hour's rowing from the nearest island.

Tove Jansson. 1961. Finn Family Moomintroll. Translated by Elizabeth Portch. London: Puffin Books.

- 入力が終わったら、メニューバーの [ファイル] から [上書き保存] を選んで、保存してあるファイルの内容を更新します。  
 ヒント: 「上書き保存」をするには、メニューバーを使うほか、[Ctrl] + [s] という**ショートカットキー**を使う方法があります。覚えておくと便利です。
- 「メモ帳」を閉じます。

#### 4. ファイルをまとめて保存する「フォルダ」の作成とファイルの移動

- 「マイコンピュータ」を開きます。file\_server の [user-id] (X:) を開きます。moomin1 というテキスト文書が保存されているはずですが。
- 他の授業のレポートや宿題なども X ドライブにたくさん保存されていると想像してください。さまざまな授業のデータがごちゃごちゃに並んでいると、必要なファイルを探すのに苦労します。そこで、ファイルを授業ごとに整理しておくとう便利です。そこで、**ファイルをまとめる入れ物である「フォルダ」**を新しくつくります。「マイコンピ

- 「コンピュータ」のメニューから [ファイル] → [新規作成] → [フォルダ] を選択します。
- 「新しいフォルダ」というフォルダができます。仮に入っている「新しいフォルダ」という文字の代わりに **lit\_r** と半角で入力します<sup>1</sup>。入力したら **Enter** キーを押すと、**lit\_r** という名前がついたフォルダになります。この中に、ファイルや他のフォルダを入れることができます。



ヒント：フォルダの名前を変更したいときや、「新しいフォルダ」という名前のままになってしまったときには、「マイコンピュータ」でそのフォルダのアイコンをクリックして選択した後、フォルダ名の部分をクリックして少し待つと、再度名前を変更できます（ファイル名も同じように変更できます）。ファイルを選択した後、メニューバーの [ファイル] → [名前の変更] でも名前を変更することができます。

- mytext フォルダの中に、先ほど入力したテキスト文書 **moomin1** と、前回授業で作成し保存したテキスト文書 **text1** を移動させます。以下の説明を最後まで読み、手順を覚えて一気に操作してください：
  - 「マイコンピュータ」の **moomin1** のアイコンの上でマウスの左ボタンを押し、押したまま **lit\_r** フォルダのアイコンの上までマウスを移動します（この操作を「ドラッグ」drag といいます）。**lit\_r** フォルダのアイコン上でマウスのボタンを離す（この操作を「ドロップ」drop といいます）とファイルがフォルダの中に移動します。
- **lit\_r** フォルダを開き、**ファイルの移動を確認し、教師(または TA)にチェックを受けてください**。これで今日の課題はおしまいです。お疲れさま。

## 5. 追加入力課題

※興味があれば、さらに自習しましょう。入力した人は次の授業で申し出てください。

- 「メモ帳」を新たに開き、以下のテキストを入力し、**moomin2** という名前をつけて **file\_server** の [user-id] (X:) の **lit\_r** フォルダの中に保存しましょう。

your student ID your name (←学籍番号は半角, 名前は半角アルファベットで)

One cold and windy autumn evening many years ago, a newspaper parcel was found on the doorstep of the Home for Moomin Foundlings. Inside the parcel lay poor shivering little Moominpappa (as he later became).

The Hemulen, who had built the Foundlings' Home, just snorted her customary snort and clamped a numbered seal on his tail to avoid mixing him up with the other Moomin children.

When Spring came, Moominpappa decided to turn away from the Home and see what great events were awaiting him. So off he went, straight into the night, all alone and a little afraid. He met some very interesting people AND one very special person -- Moominmamma.

Tove Jansson. 1969. The Exploits of Moominpappa Described by Himself. Translated by Thomas Warburton. London: Puffin Books.

<sup>1</sup> lit と r の間はアンダーバーが入ります。スペースはなるべく入れないでおきましょう (Windows はファイル名にスペースを使うことができますが、アプリケーションによってはファイル名にスペースを不用意に入れるとトラブルがおきることがあります)。

- さらに余裕があれば、「メモ帳」を新たに開き、以下のテキストを入力し、 **moomin3** という名前をつけて file\_server の[user-id] (X:) の lit\_r フォルダの中に保存しましょう。

your student ID your name (←学籍番号は半角, 名前はアルファベットで)

'It's strange,' thought Moominmamma. 'Strange that people can be sad and even angry because life is too easy.'

That was how it had been with Moominpappa, though, back home in Moominvalley. He'd been feeling unnecessary, out of things. Moomintroll was growing up now, and it seemed everything there was to be done had already been done, or was being done by someone else.

The only thing to do was to make a fresh start. Somewhere out at sea there was a tiny rocky island and a lighthouse, just waiting for him. There he'd be important, able to explain things to his family again, able to boast a bit...

There it was at last, Moominpappa's island. There was the lighthouse too, huge and black against the grey of the sky, at the time when the first light makes one feel helpless and everything seems dangerous if one is awake by oneself.

'In any case, it's mine,' he thought, and lit his pipe. 'I'll capture the lighthouse. I'll present it to my family and say: "This is where you're going to live. When we are safe inside, nothing dangerous can happen to us." '

It was just as well he was so confident, for their island was a mysterious, eerie place. Moominmamma's roses wouldn't grow, the waves wouldn't yield up their secret pattern to Moominpappa's important-looking notebook, and there was always the uneasy question at the back of their minds: where has the last lighthouse-keeper disappeared to?

This haunting, moving, beautiful book is perhaps the most satisfying of all the Moomin stories.

Tove Jansson studied oil painting in Finland, Sweden and France. She drew the very first Moomin to tease her little brother by drawing the ugliest creature she could -- later the Moomin developed a nicer snout and character! She and her mother and brother are the only inhabitants of a little island in the Gulf of Finland, an hour's rowing from the next island.

Tove Jansson. 1974 Moominpappa at Sea. Translated by Kingsley Hart, 1974. London: Puffin Books.

(以上)